大船渡土木センター 震災復旧・復興情報 かわら版 Vol. 19

◇ HPアドレス
http://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_doboku/010341.html

平成30年12月17日発行

1. 『高田松原　砂浜再生工事の現場見学会』を開催しました！

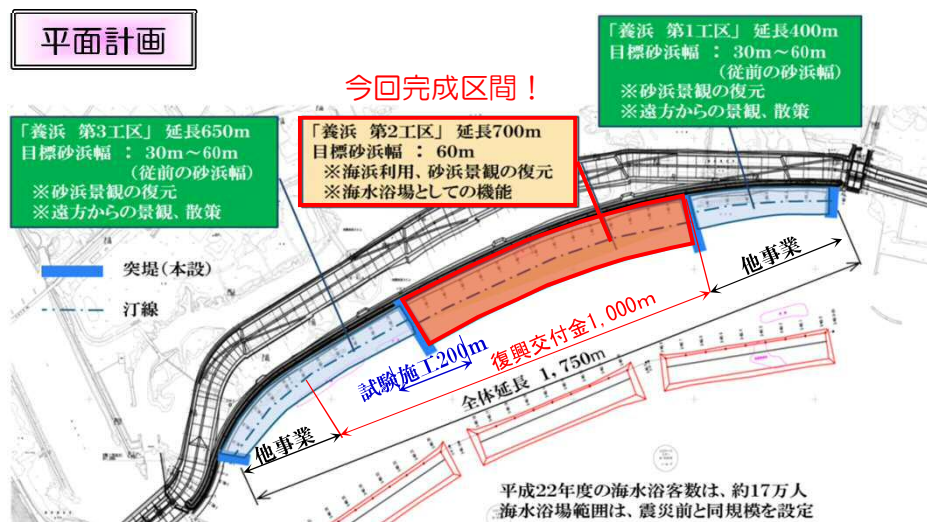
岩手県が整備を進めている「高田地区海岸砂浜再生（本格施工）工事」について、平成３０年１０月に**海水浴場として利用される予定の区間（延長700m）が完成**したことから、施工者（鹿島建設㈱･㈱明和土木特定共同企業体）の主催で現場見学会が開催されました。

見学会は、一般の方向け（平成30年12月1日）と高校生･大学生向け（平成30年12月8日）の２回に分けて開催し、高田地区海岸周辺の復興事業概要、養浜事業、工事概要の説明を行った後に、実際に砂浜を歩いて再生状況を感じていただきました。

工事は平成３１年３月の完成を目指し、今後も安全第一で工事を進めていきます。

平面計画

白砂青松の高田松原
（平成22年3月14日撮影）

夏の海水浴場利用状況

◆平成30年12月1日（土）　一般の方向け見学会（参加者:72名）

【見学会の様子】

　当日は、陸前高田市に暴風警報が発令されていたため、防潮堤の上から全景を眺めることはできませんでしたが、バス車内から普段立ち入ることが出来ない公園工事の様子や、植樹された松原の様子も合わせてご覧になっていただきました。

注意事項を説明

砂浜を踏みしめる

思い思いに砂浜を歩く

砂浜に連なる長い列

【寄せられた感想（一部）】

松原が成育途中なので砂浜がより広さを感じられました。
砂を入れ始めた時期にも見学したことがあったので、工事の進捗状況がよくわかりました。
海水浴だけでなく、昔から続く海岸の復活を期待しています。

今日は松原の見学会を企画していただきありがとうございました。皆同じ頭を持っているのにあんなに昔の松原が出来工事の方々には本当に感謝します。どんな計算でどういうふうに図面を作るのか私等はとうてい出来ません。
今から、50年前、子供達と海水浴した事そして小学校中学校時代の海浜学校を思い浮べながら砂浜を歩いてきました。本当にりっぱなそしてあの砂のかんしょくが昔を想い、とてもよかったです。孫達の海水浴が見れる２年後が楽しみです。

砂浜はきれいで嬉しくなりました。
波で砂がさらわれて行くのでは？との心配もありますが
松も育って早く元の松原に戻るとよいと思いました。
また、お散歩する日が楽しみです。

天候が悪いのは残念でしたが
これ程まで砂浜が再成されているとは…とても嬉しく感激しました。
高田松原の近くで育ったので松原、砂浜が復活していく様子を見られて良かったです
二年後には海水浴も出来るとのことでとても楽しみです

寒い中本当にごくろう様です。
思った以上に砂浜が美しくできていてうれしかったです。
完成がとても楽しみです。ありがとうございました。

実際に松原に行ってみて…何年ぶりだろう
この景色…砂浜、海風見ながら……
松の木も少しずつそだっています

あと何十年したら昔の松原にもどるんだろう
また将来、むかし津波があったけれど
こうやって再生したんだよって話を
語りついでいってほしいと思いました。

◆平成30年12月８日（土）　学生の方向け見学会（参加者:7名）

【見学会の様子】

12月1日の見学会同様、事業概要、工事概要を説明した後に、実際に砂浜を歩いてもらい、さらに防潮堤の上から公園工事、松原の成長の様子など、高田地区海岸周辺の状況を確認していただきました。

現場見学の後には、復興工事を担う先輩社会人が体験談などを説明し、学生と交流しました。

砂浜を歩く

波の様子を感じる

ドローンによる集合写真

先輩社会人のお話

【寄せられた感想（抜粋）】

私は、小学校の頃（震災前）によく行った高田松原の再生工事についてよく知ることができ、良かったです。高田松原が完成する前に見学することは、なかなか出来ないことだと思うので、良い経験になりました。また、携わっている方の仕事についても説明していただき、「ものづくりのすばらしさ」を感じることができました。この経験を将来に生かして生活していきたいし、私たちの高田松原はたくさんの人たちの手でできているということを周りの人に伝えたいし、大切に使用したいと思っています。

今日、現場を見学して、普段大学では学ぶことができない様々なことを学ぶことができました。特に、実際に高田松原の砂浜を歩いたと時の足の感触に驚かされました。また、粒の細かさやきれいな点にも驚きました。これは、砂から泥を取るために三回洗うなど、現場で働かれている方々の仕事の成果であるのだなぁと実感しました。

高田松原には初めて訪れたが、防潮堤の設計や建設作業が順調に綿密に行われていると感じました。実際に砂浜に踏み入れると砂粒の細かさに驚き、新雪のような柔らかさだと思えました。また、工事には多くの企業の協力が必要であり、住民の支援も必要であることが分かりました。

砂浜があれほど綺麗に復興できていて驚きました。松の木も含めて、完全に復興できるのが楽しみです。

工事現場でどのようなことが行われているのか、土木エンジニアがどのような気持ちで工事に取り組んでいるのか、生の声を聞くことができました。特に座談会では、仕事についての気になることや疑問を解決することができ、モチベーションをつくるきっかけになりました。

私は公務員になって、防災対策に携わりたいと考えていました。今回の見学によって、自分が公務員を目指す意思や理由をより深めることができました。インターネット上では調べることのできない内容も教えていただき、とても参考になりました。公務員になる夢をあきらめず、県の発展のために活躍できる人材になりたいと思いました。

養浜砂を県外から持ってきたという説明でしたが、実際に砂浜を見て違和感のない仕上がりで、満足のいく結果と感じました。松もきれいに植えられており、一般公開される2年後が楽しみに思います。自分の他にも公務員として復興に携わりたいという方がいたので、自分も改めて熱意を持つ良い機会になりました。ありがとうございました。

❑❑ かわら版に関する問合せ先 ❑❑
沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター河川港湾課（本庁舎）
TEL：（本庁舎）0192-27-9919　、（分庁舎）0192-26-1951　◇E-mail：BG0005@pref.iwate.jp